

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）事後評価調書

都道府県名	埼玉県	事業実施主体	埼玉県、美里町	地域再生計画名	“美しの里”定住したい魅力ある地域づくり計画
計画期間	平成28年度～令和4年度	評価責任者	美里町建設課長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値			最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価	
			基準年度		年度	中間実績	基準年度	最終実績	指標総数		達成数			
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	新築件数の増加	63件	H27	219件	H30	212件	511件	R4	399件	×		以下の理由により、最終目標値を112件下回ったと考えている。 ①用地買収の結果、整備箇所の3路線が実施に至らなかった。 ②新型コロナウイルスの感染拡大や建設資材高騰等の影響により、新規着工件数が減少した。  * 埼玉県内の新規着工件数（国土交通省の「建築着工統計調査」） コロナ前（平成27年度～平成30年度：約38,500棟/年） コロナ発症以降（令和元年度～令和4年度：約35,200棟/年）→△8.6%	
	指標2	間伐面積の増加	0ha	H27	9ha	H30	15ha	21ha	R4	56.47ha	○	3	2	最終実績は、目標の約2.7倍であり、放置された里山・平地林の整備が進んだ。この結果、景観の向上や日光が地表に届くことによる下層植生の発達促進など、森林が持つ多面的機能が増進された。
	指標3	人口1,000人当たりにおける交通事故発生率の低下	5.95件	H27	5.80件	H30	4.81件	5.50件	R4	2.18件	○			道路改良により、見通しが良くなった。また、自転車及び歩行者は、整備された路肩部を通行することにより、事故の防止に繋がり、事故発生率は最終目標値を大きく下回った。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1													
	指標2													
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価								
			計画	中間年度(H30)	最終実績									
特別措置を適用して行う事業	町道整備事業（整備延長）		2,167m	156m	1,887m	計画に対し、最終実績の整備率は、87.1%となったが、町全体の生活道路整備が進んだことにより、交通事故の減少や利用者の利便性向上が図られた。								
	林道整備事業（整備延長）		210m	210m	210m	計画に基づき林道整備を行った。その結果、放置された里山・平地林の整備が進んだ。この結果、景観の向上や日光が地表に届くことによる下層植生の発達促進など、森林が持つ多面的機能が増進された。								
その他の事業														
計画外で独自に実施した事業	定住促進奨励金		美里町への定住を促進			町内への定住を促進するため住宅取得する40歳以下の者に奨励金を支払う事業を実施し、定住人口を増加させた。(H28.4.1～R5.3.31の実績229件)								
	地方創生加速化交付金		美里町の魅力を発信			ハイキングコースをより多くの方に気軽に山歩きや森林浴を楽しんでもらうため、ハイキングコースを(H29年度)整備し観光資源の魅力を高めた。								
	寄居スマートインターチェンジ整備事業		インターチェンジと周辺産業団地の整備			スマートインターチェンジ及び、その周辺産業団地を整備を進めたことで、定住地としての魅力を高めた。(スマートIC上りH31.3月、下りR3.3月開通。産業団地R1.6月引き渡し完了)								
	里山再生事業		景観の向上と生物多様性の保全			里山が整備され、森林の保全や地域の景観が向上した。(H29.4月～R3.8月の間に森林整備間伐事業等を実施)								
	交通安全対策事業の推進		交通安全施設設置			街路灯の設置・修繕によるLED化推進(H28町内全域実施)、交通安全対策事業としてグリーンベルト(R3:約3,900m)を設置した。								
	道路整備事業		道路整備事業			町道及び林道の利便性を向上させるため、道路の整備を行った。(H28～R4の間町道1級10号線外2路線の道路整備を実施)								
④評価方法	美里町公共事業順位検討確認会を評価委員会とし、最終目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。													
⑤事後評価の公表方法	美里町のホームページに掲載予定													
⑥計画全体の総合評価	町道と林道を一体的に整備することにより、町全体の安全性、利便性を向上させるとともに森林資源の保全を図ることができた。住みやすさ、森林資源の魅力、そして新たな企業誘致を進めることにより、美里町の魅力を高め、定住人口の増加等を図ることができた。道路改良を行ったことにより、見通しが良くなり、また、路肩部が自転車、歩行者の通行部分となり、事故の防止に繋がったため、最終目標値以下の事故発生率となった。													
⑦今後の方針等	本計画の中で実施した事業は、町の魅力や住みやすさの向上に寄与したものと考えており、引き続き取り組んでいきたい。また、指標1（新築件数の増加）については、最終目標値とならなかった新築件数は、定住・移住の促進に繋がることから、新たな方策の検討も含め取り組んでいく。													